

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/11/01～2017/11/30)

### 1. 勉学の状況

全体的に、予習や課題にかかる時間が減ってきました。理由としては、1つには、専門用語や考え方に慣れてきたこと、2つには英語力そのものが若干向上したことが挙げられます。今学期の初めは、コピー機から際限なく吐き出される大量の英語文献を見つめて途方に暮れていましたが、最近は、「このくらいなら頑張れる！」と思えるようになりました。

#### (1) (POL SCI 104) Introduction to American Government and Politics

アメリカ統治の講義です。今月はアメリカの司法制度、世論と政策の関係、選挙制度について扱いました。手続法を細かく見ていくというよりは、それぞれの行動主体の利益が政策として実現される過程を捉えています。

一貫して問題になるのは、少数派の人権と民意の尊重のジレンマ、そこへの司法の介入の程度、です。おそらくこの問題に答えはないのですが、日本とは違う制度を勉強することで、ほんの少しだけ理解が深まったような気がします。

#### (2) (POL SCI 175) Introduction to International Relations

国際関係論の講義です。今月は経済政策を主に扱いました。中間テストとエッセイが1つずつありましたが、先月と同様、英語面で友人に助けてもらいつつこなしていきしました。

#### (3) (POL SCI106) Politics of World' s Nations

比較政治の講義です。今月は20世紀以降のロシアと中国の政治史を扱いました。独裁政治や汚職など、社会主義体制における様々な問題を扱いました。ただ、学期の初めにフランスとイギリスを扱った時とは違って、いわゆる東側諸国のネガティブな側面ばかりを取り上げていることに違和感を覚えなくもないです。講義の内容を踏まえれば、テストやエッセイで何を書いても減点されることは決して無いのですが、先生の話ぶりや言葉選びからちょっとした思想を感じなくもないです。ともあれ、なぜ自分がそのような違和感を覚えるのかを考えながら講義を受けることもまた面白く、勉強になります。

#### (4) (EAP435) Advanced Listening, Speaking, and Note-taking Skills for Internationals

英語のセミナーです。今月は6分ほどのプレゼンを1つ行いました。自分の番が回ってきたときに、記憶していた内容が全部飛んだのですが、なんとか6分間話し続けることができました。結果オーライというか、これはこれで自信になりました。

## 2. 生活の状況

### (1) サンクスギビング休暇について

シダーパーク (Cedarburg) という街にあるルームメイト (ジョン) の実家で2泊させてもらいました。シダーパークはミルウォーキーから北へ車で40分ほどの所にある小さな街です。歴史的な建物や小さくておしゃれなお店が多く、ミルウォーキーとはまた違う、落ち着いた街並みを見ることができました。

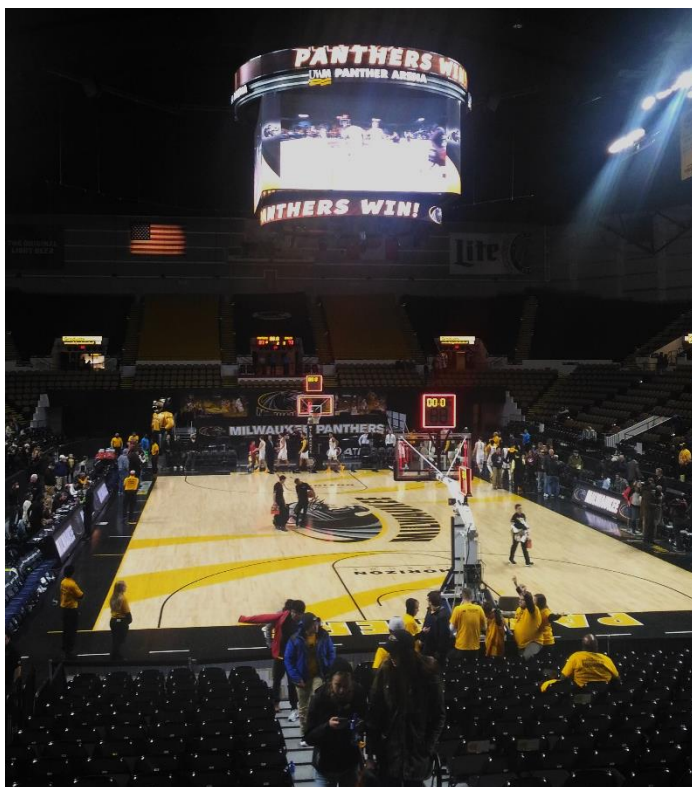
サンクスギビング当日の朝は、近所の人々が近くの広場に集まってアメフト大会をしました。ルールもよくわからないままキャプテンに指名され、最終的には MVP に選ばれました。なんだか周りの人の心の暖かさを感じた瞬間でした。

その後もご家族とマリオカート大会をしたり、ボードゲームをしたり、夕食の支度を手伝ったりすることを通して、アメリカの家庭の様子を見ることができ、とてもよい経験になりました。

### (2) 体調管理について

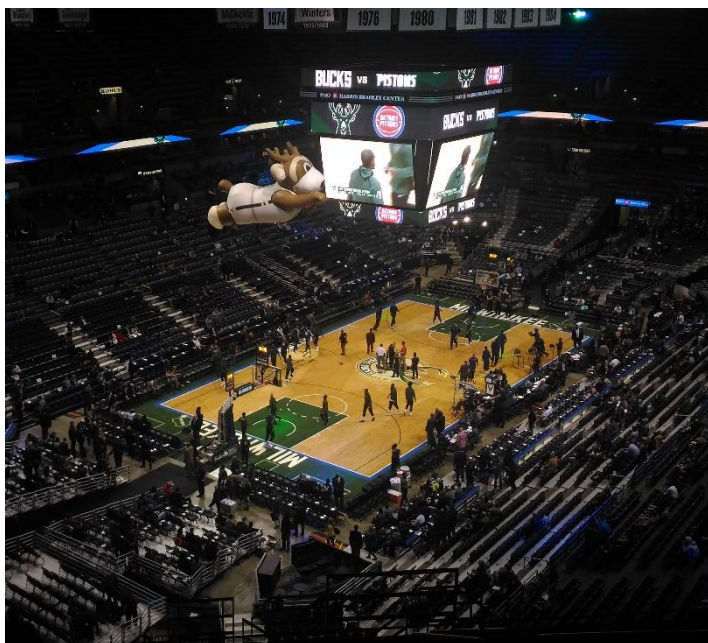
勉強面でも生活面でもこちらでのリズムに慣れてきており、ストレスを感じるものが減りました。先月まで、友人と数時間話すだけでも疲弊していたのに比べれば、今月は当たり前に行えることが増えてきたなど感じています。こちらでの生活に慣れてきたところで、来月からはまた何か新しいことに挑戦してきたいと思います。

### (3) 最後に写真をいくつか載せます。



大学バスケットを観に行きました。ミルウォーキーのダウンタウンに、大学のスタジアムがあります。

この試合は UWM が勝ちました。アメリカはカレッジスポーツが盛んで、それを勉強しに日本からきている留学生もいます。



NBA も観に行きました。一番安いチケットで\$20程でした。

この試合はミルウォーキーバックスが勝ちました。接戦で盛り上がりました。



サンクスギビング休暇中にお邪魔したジョンの実家の犬(ペッパー)です。僕の膝の上で野生を失っています。とても人懐っこく、出会って1秒で打ち解けました。





サンクスギビング当日の朝、リビングで撮った写真です。ニューヨークのパレードの様子を中継していました。日本で言うところのお正月のような雰囲気を感じました。



ターキー解体中！  
クランベリーソースを付けて食べました。



これもジョンの実家で撮った写真です。意味は「10代の子を育てるのは木にJell-O (ゼリーの商品名) を塗るようなもの (=不可能) だ。」です。

Jell-O はゼリーの代名詞らしいのですが、アメリカに来るまで知りませんでした。

以上。